

# 特養老人ホーム「壹岐のこころ」開所



テープカットで開所を祝う岩永理事長(左から2人目)、白川市長(右から2人目)ら  
＝特別養護老人ホーム壹岐のこころ

壹岐市は1日、同市勝本町の市立特別養護老人ホームと敷地内のデイサービスセンターについて、同市内の社会福祉法人壹心会(岩永城児理事長)に経営移譲。同日、壹心会は現地で開所式を開き、壹岐初の福祉専門学校の2017年4月開校や19年4月までに特養ホームを新築移転する予定などを報告した。

## 市から経営移譲

特養ホームは、「寿楽園」から「壹岐のこころ」(岡田高明施設長)に名称変更した。

壹心会は、こころ医療福祉専門学校などを運営する学校法人岩永学園(長崎市、岩永守弘代表)グループ。壹岐市が昨年、特養ホームなどの移譲先を公募したのを受け、介護福祉士養成の専門学校を開校し特養ホームで実地研修することなどを提案し、移譲が実現した。特養ホームなどの嘱託、臨時職員の計60人は正職員として再採用された。

福祉専門学校は2年制(定

## 初の専門学校開校へ

員1学年40人)で、勝本町の旧鯨伏中を改修し活用。島内外から学生を募り、介護人材の育成を図る。卒業後は市内の介護事業所への就職が可能になる。

一方、特養ホームの現施設は当面運営するが、老朽化のため、近くに移転新築。新施設は同規模の定員100床、シヨートステイ20床、通所30人規模の鉄筋コンクリート造り3階建て。

開所式は白川博一市長ら約40人が出席。岩永城児理事長は「思いやりと創造の理念で運営する。移譲の際の約束があり、しっかり運営したい」とした。

(植村圭司)